



日本共産党文京区議会議員
まんだち幹夫 週刊 通信
 2011年2月4日号 No.179

'みなさんをいつもまんやかに、

区議団控室：5803-1317 (直通)
 萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7
 ・fax 3868-8355
 メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ <http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/>でもご覧いただけます》



旧沢内村(現西和賀町)の位置、映画のポスター(上)



”日本の青空Ⅱ”「いのちの山河」を鑑賞しました
**「人命の格差は絶対に許せない」——(深澤沢内村長の政治理念)
 年金、福祉、雇用：いまの政治にもつながる**

観終わって、なにかスッキリ、そして頑張らねば!との思いにかられました。

31日夜「日本の青空、いのちの山河」(監督・大澤豊)を観ました。区内の労働組合や「9条の会」、日本共産党も加わった実行委員会がとりくみ、シビック小ホールでこの日3回上映、夜の部も満席状態でした。

旧沢内村の村長になった深澤氏は、それまで村民があきらめていた「豪雪、貧困、多病」の解決にあたり、「生命尊重」の信念のもと憲法25条(すべて国民は健康で

文化的な最低限度の生活を営む権利を有する)を盾に、当時は「違法」とされた老人医療費無料化に踏み切り、さらに乳幼児医療費も無料にしました。そして、全国で初めて、自治体として「乳児死亡率ゼロ」を達成したのです。

村長の信条は、「行脚と対話」。村民と車座になって声を聞く、今もその基本は変わらないでしょう。区政問題も、つねに憲法の精神を掲げとりくみたい、強く思いました。



**いよいよ 迫りました
 「新春のつどい」
 お気軽にご参加ください**

2月6日(日) 正午から開催
 白山東会館(児童館の一階)

ご案内しています、小石川・白山・西片・春日地域の日本共産党後援会主催の「新春のつどい」が目前です。この間の区政報告を私が行います。区の財政、現在とこれからの焦点など。みなさんからも忌憚のないご意見をいただきたいと考えています。

アトラクションはバルーンアートと落語を楽しんでいただきます。会費は1,000円で食事と飲み物を用意いたします。お誘い合わせてお越しください。

まんだち日誌

25日 財政課から来年度予算について概要を聞きました。来週9日から定例議会で、予算審議がされます。詳細は次号で報告します。

27日 朝 後楽園駅での宣伝を7時から。この時間帯も通勤者がおおいです。午前、車での宣伝。初音町交差点で訴えていると何人かから声がかかりました。

30日 日中でも底冷えする一日。白山1丁目街頭で宣伝とビラ配付。高齢の女性が「寒いのにご苦労様だね」と激励。心が温まります。

新春のつどい
 会場地図を裏面を
 ごらんください。